

市民サロン塾 第9回 平成27年12月14日(月) 13:30~15:30

「ペン習字②」

年賀状の書き方 素敵な年賀状を書きましょう

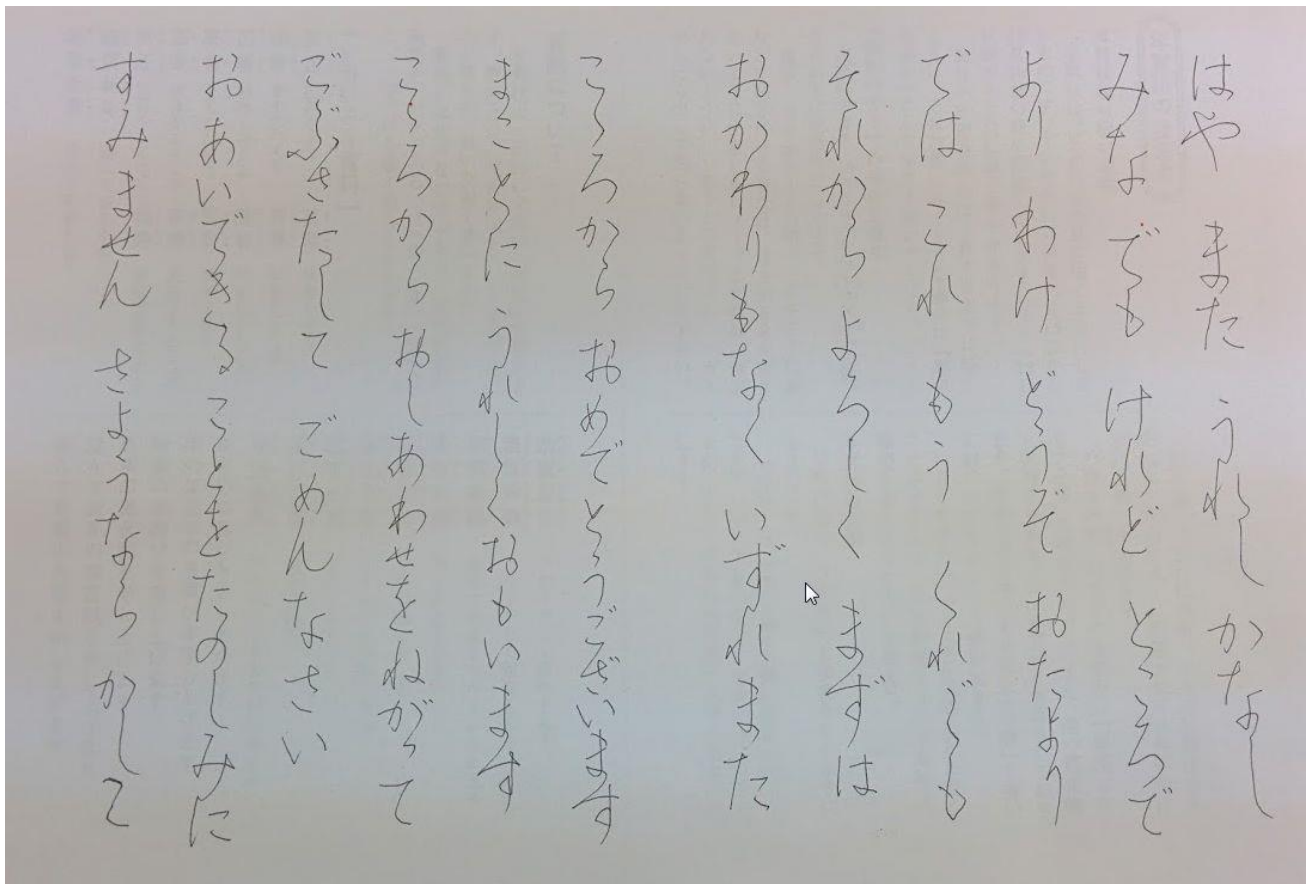
講師:江村 文子 氏

今期、最後の講座として、受講者15名の参加があり、江村講師にご指導いただき、年賀状を書くためのかな文字の練習と宛名書きの留意点について学びました。

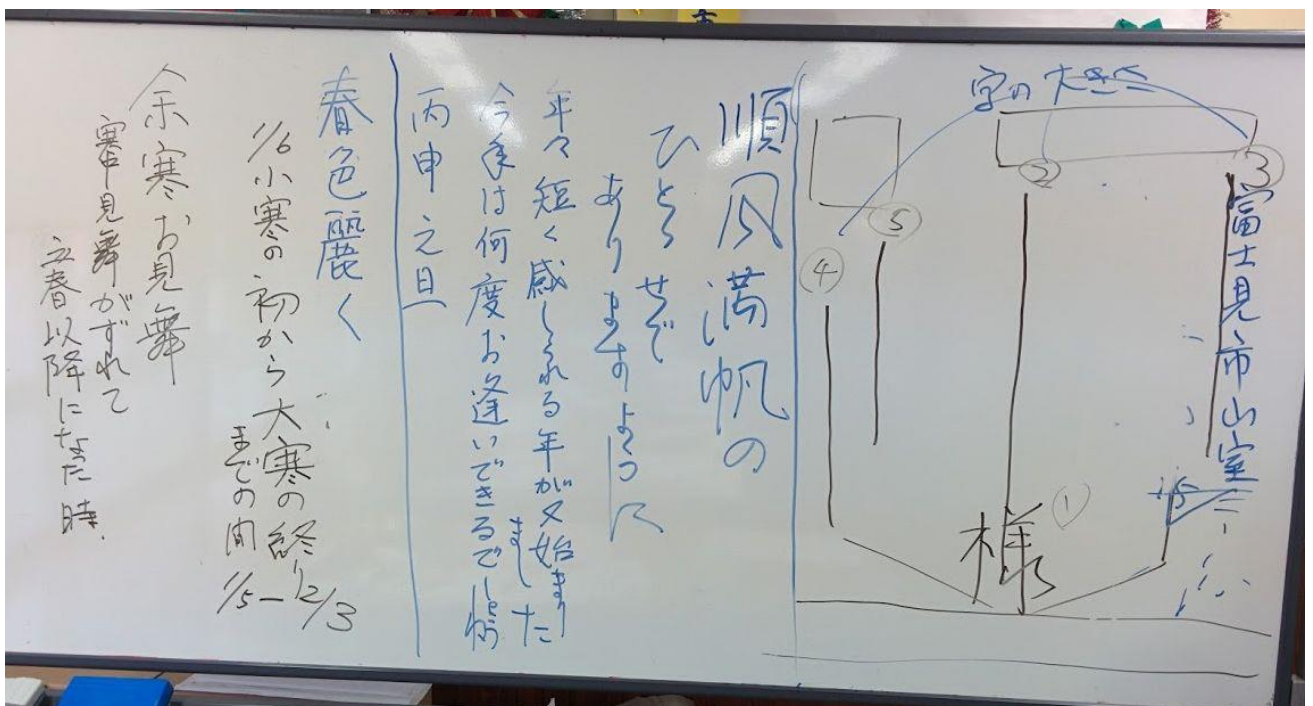
かな文字をつづけて書く、連綿の練習をしました。

連綿とはかな文字がつながったようにすることで、2文字から5文字までのつながりを言います。



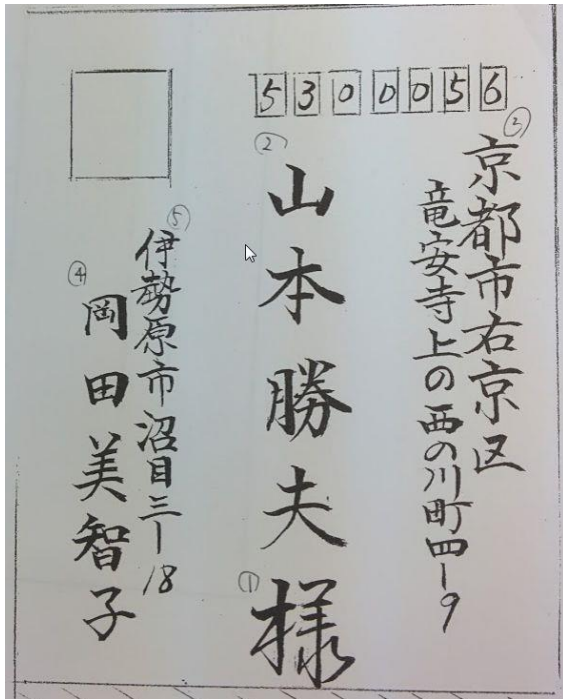


宛名がきでは文字の位置、どこから書き始めるか、文字の大きさについて教えてもらい、実際に練習用の葉書に書いて練習をしました。



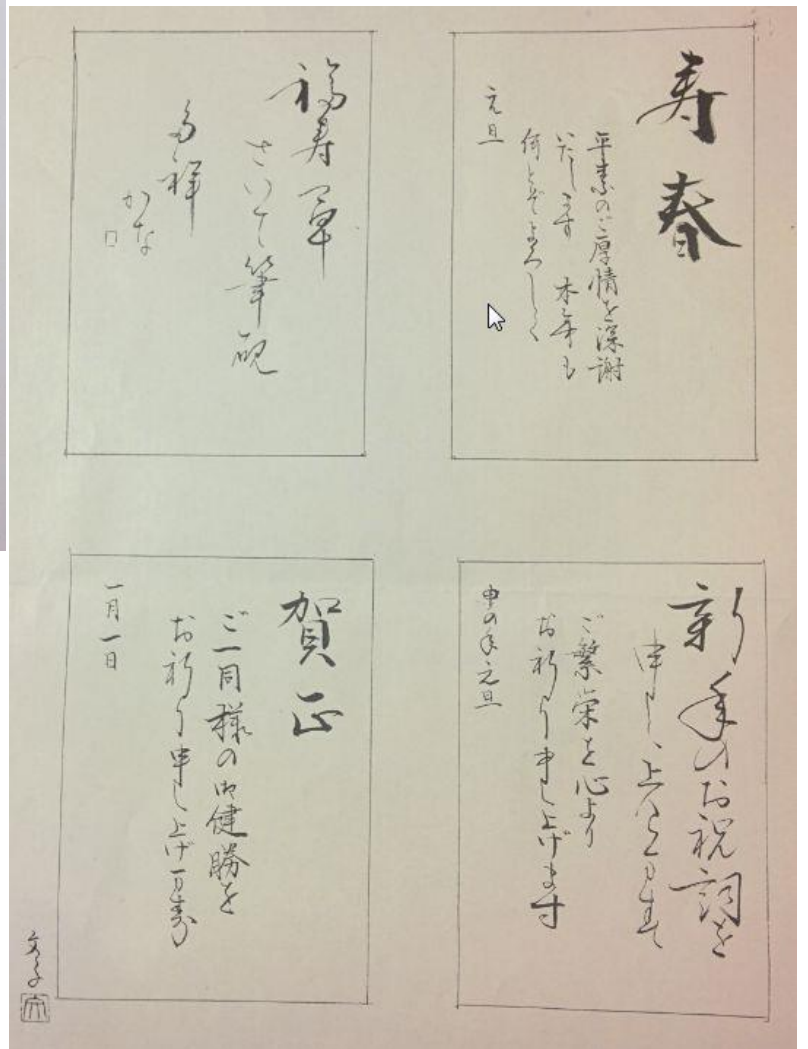
文字の大きさの順は「様」が一番大きく書き、相手先の氏名、相手の住所、自分の名前、自分の住所が好ましいとのこと、相手の名前は葉書の中央に来るように、最初に書くとバランスが良くなるとのことでした。

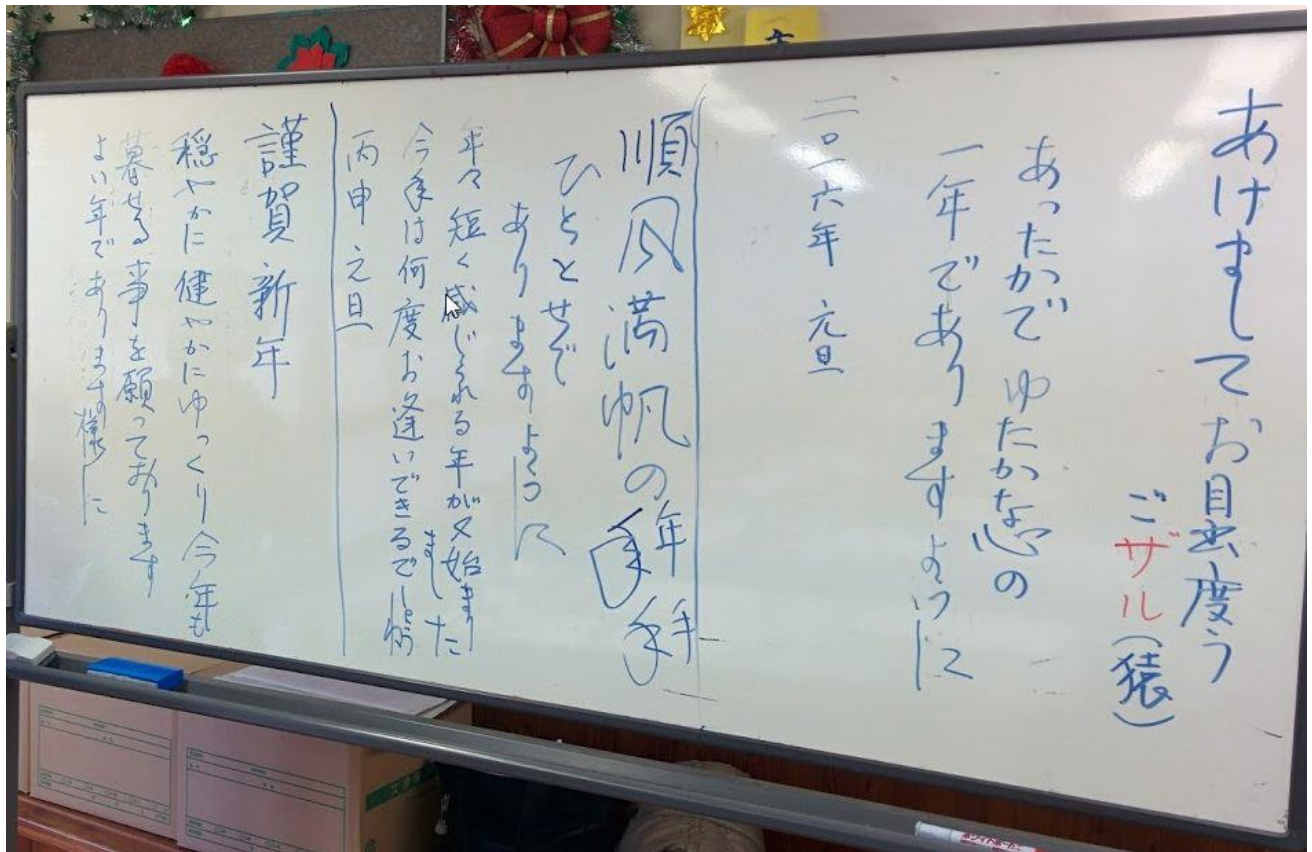
連名のときは、「様」を2つ書くのではなく、夫人であれば「さま」とかな文字にする、住所の番地などは最後の数字を漢数字ではなく、英数字にすると読みやすいとのことでした。



年賀状の文面も例をあげて説明していただきました。

定型の文面だけではなく、親しい方には干支を入れた洒落た文面も喜ばれるのではないのでしょうか。





年賀状も印刷やパソコンですべて作るのではなく、宛名だけでも自筆で書くことでもらった方も嬉しいのではないのでしょうか。

来期も江村講師に指導いただき、ペン習字の勉強を続けたいとの感想をもった方が多かったです。

